

球磨川治水対策協議会
第2回 整備局長・知事・市町村長会議

参考資料

平成29年3月22日

国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県

○タイムライン検討会発足式(平成27年6月24日)

- 平成27年6月24日に球磨川水害タイムライン検討会の発足式を開催
- タイムライン検討の進め方について認識を共有するとともに、松尾座長と山崎アドバイザーから、タイムラインの意義や災害への活用について講演
- 以降、6回の検討会(人吉市、球磨村合わせて10回の議論)を開催



松尾座長による講演(発足式)

○第1回タイムライン検討会(平成27年7月31日)

○第2回タイムライン検討会(平成27年10月7日)

- 第1回、第2回検討会では、水災害・防災に関する知識の習得を目的とした内容で開催
- 第1回では主として球磨地方における気象の特徴や、気象情報の見方、球磨川における水災害の特徴と、災害に対する河川管理者の役割などを、村中アドバイザーや気象台、国土交通省から説明
- 第2回では、日本で最初にタイムラインの作成・運用に取り組んだ和歌山県紀宝町から取組内容について紹介



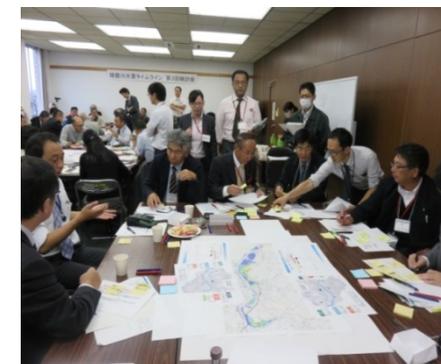
紀宝町における取組の紹介(第2回)

○第3回タイムライン検討会（平成27年11月16、17日）

○第4回タイムライン検討会（平成27年12月21日、平成28年1月15日）

○第5回タイムライン検討会（平成28年2月29日、3月1日）

- ・第3～5回検討会では、それぞれの回でポイントを絞り、ワークショップ形式でタイムラインの作成に向けた検討・議論を実施
- ・各回での主な検討内容は以下のとおり、
 - 第3回：災害時における各主体の役割確認と課題・解決策の抽出（誰が）
 - 第4回：災害時における防災行動の抜け・漏れの確認（何を）
 - 第5回：防災行動を実施するタイミングとその主体の検討（いつ）



検討状況
（人吉市、第3回）

○第6回タイムライン検討会（平成28年5月17、19日）

- ・第6回検討会では、平成28年度の出水期に、実際にタイムラインを運用するにあたって、読み合わせ形式で内容を確認

○平成28年球磨川水害タイムライン完成式（平成28年6月2日）

- ・平成28年度出水期に向け完成させたタイムラインを、松尾座長から人吉市長、球磨村長に手交し、今後の取組方針を確認



完成したTLを人吉市長に手交
（完成式）

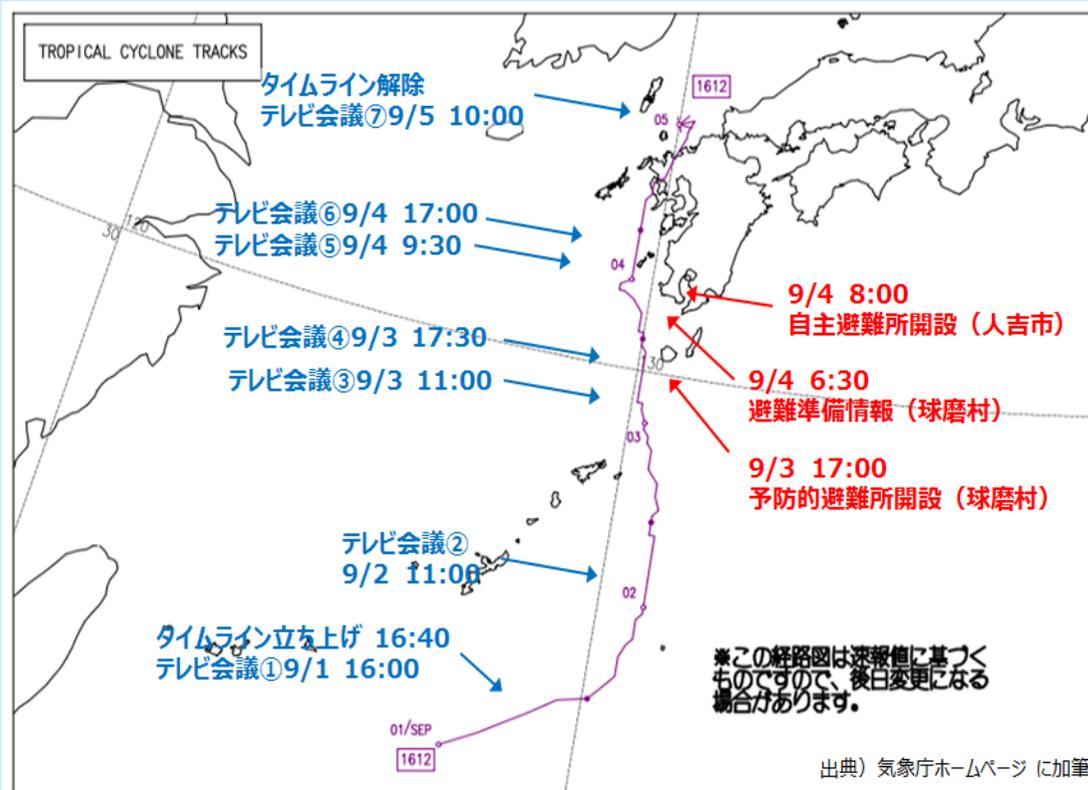
○第7回タイムライン検討会（平成28年6月9日）

- ・完成した試行版タイムラインの内容のうち、タイムラインの立ち上げや、タイムラインレベルの引き上げ、避難勧告の発令のタイミングなど、意思決定に係る項目の実施に関して図上演習を実施
- ・昭和47年7月の洪水をシナリオとし、気象情報や雨量・水位情報を段階的に提示し、洪水の危険性が徐々に高まる状況を模擬的に作りだして臨場感のある演習となるよう工夫

『球磨川水害タイムライン』の試行運用

- 台風12号の発生に伴い、人吉市と球磨村において、熊本地方気象台、八代河川国道事務所と協働で「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組にも位置づけられている「球磨川水害タイムライン」の試行運用を実施
- 徐々に台風が遅くなるなど、時々刻々と変化する気象の見通しについて、首長も参加するテレビ会議により、質疑等双方向のコミュニケーションで迅速に認識を共有し、意思決定者の判断を支援
- タイムラインを運用する中で、お互いが顔の見える形で情報共有を行うことで、市村からは、「心強い」「専門的な見解をもらえることで、意思決定がスムーズに行うことができた」「有効な情報を共有でき、防災対応においてたいへん参考になった」との意見もあり、適時の避難準備情報の発令や避難所開設等、効率的な意思決定を実現

● 台風の経路とテレビ会議等のタイミング



● テレビ会議による情報共有



● テレビや新聞による報道



(テレビ画面をデジカメで撮影)

人吉新聞H28.9.2

全国で初めて！前線性降雨を対象としたタイムラインを試行運用！ H28出水をふりかえり次年度に備える！

4

- 人吉市、球磨村、消防団や地域の方々、関係機関、国、県が参加し、平成28年の防災対応を『ふりかえる』ため検討会を開催しました。（平成29年2月10日）
- 検討会開催にあたっては、事前に防災担当者による「ふりかえり会議」や検討会参加者へのアンケート調査及びヒアリングを実施し課題のとりまとめを行い、参加者全員により課題を確認し、これを踏まえた改善版を用いて平成29年の出水に備えることを共有しました。
- 意見についても提案型が多く、防災対応に対しての意識向上がみられたことは、タイムラインを試行運用したことの大きな成果であると考えられます。

1 顔の見える関係で状況と認識を共有



時々刻々と変化する気象の見通しについて、首長も参加するテレビ会議により質疑等双方向のコミュニケーションで迅速に認識を共有し、意思決定者の判断を支援しました。

お互いが顔の見える形で情報共有を行うことで、適時の避難準備情報の発令や避難所開設等、効率的な意思決定を実現できました。

2 『ふりかえり』を行い、しっかりと課題の確認と改善にみんなで取り組む

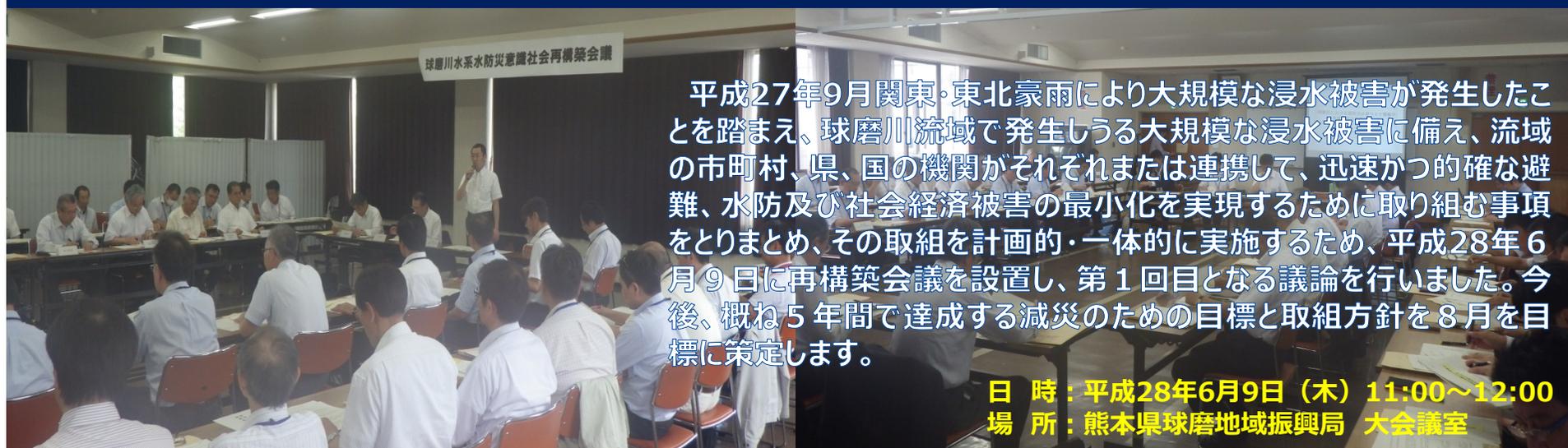


タイムラインを作成しただけでは適切な防災対応はできません。防災対応を行う都度、タイムラインと照らし合わせて防災行動の実施タイミングが適切であったか、抜けや漏れはなかったか、など検証し改善していくことで、その地域の実情に即したよりよいタイムラインとなっていきます。

人吉市と球磨村では、今年度の出水期に延べ7回の防災担当者によるふりかえり会議を行いました。

今回の検討会を踏まえ平成29年度洪水運用版をとりまとめ、出水期までに再度、検討会を開催し、関係者一丸となって梅雨・台風に対応します。





平成27年9月関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、球磨川流域で発生しうる大規模な浸水被害に備え、流域の市町村、県、国の機関がそれぞれまたは連携して、迅速かつ確かな避難、水防及び社会経済被害の最小化を実現するために取り組む事項をとりまとめ、その取組を計画的・一体的に実施するため、平成28年6月9日に再構築会議を設置し、第1回目となる議論を行いました。今後、概ね5年間で達成する減災のための目標と取組方針を8月を目標に策定します。

日時：平成28年6月9日（木） 11:00～12:00
場所：熊本県球磨地域振興局 大会議室

委員名簿

- 流域市町村
 - 八代市長
 - 人吉市長（会長）
 - 芦北町長
 - 錦町長
 - あさぎり町長
 - 多良木町長
 - 湯前町長
 - 水上村長
 - 相良村長
 - 五木村長
 - 山江村長
 - 球磨村長
 - 熊本県
 - 知事公室 危機管理防災課長
 - 企画振興部 川辺川ダム総合対策課長※
 - 土木部 河川課長
 - 市房ダム管理所長
 - 県南広域本部 土木部長
 - 芦北地域振興局 土木部長
 - 球磨地域振興局 土木部長
 - ※ オブザーバー
 - 国の機関
 - 気象庁 熊本地方气象台長
 - 九州地方整備局 八代河川国道事務所長
 - 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長
- （会長は、事務局からの推薦により「人吉市長」が任命された。）

議事内容

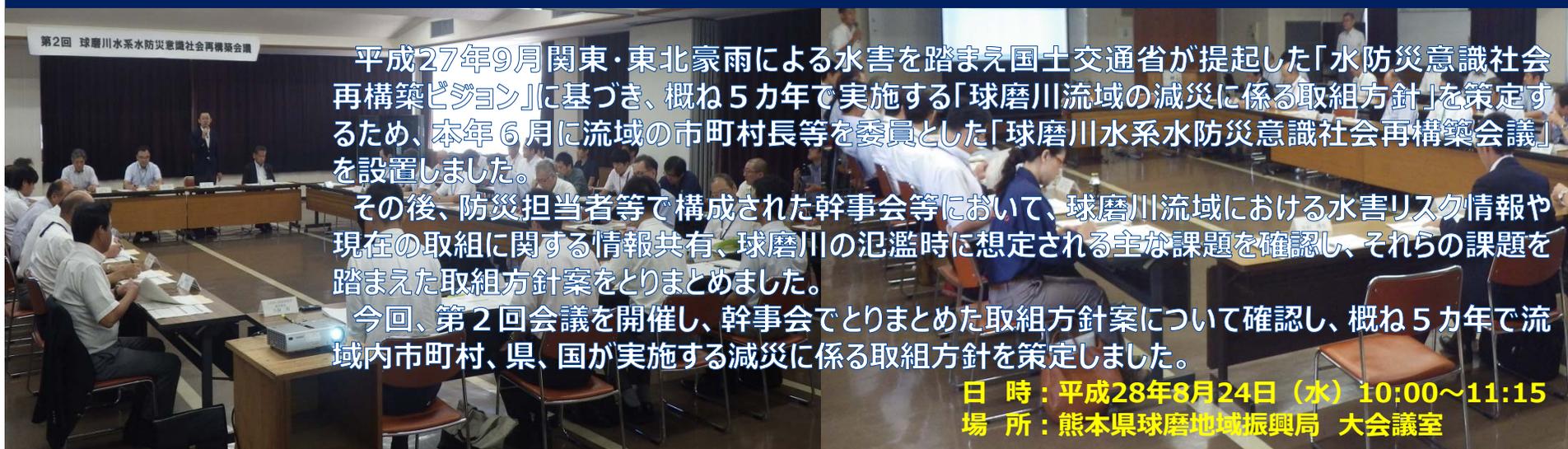
- ・「再構築会議」設置及び「規約」の合意形成
- ・「再構築ビジョン」「水害リスク情報や取組状況」の情報共有
- ・「取組目標」「今後のスケジュール」の意見交換

委員の方の主なコメント

- ・ 自然災害は、いつ発生するのか分からないが、それに備えるのが行政の使命であり、併せて、住民の方々にも同じ意識を持ってもらうことが重要。
- ・ 国、県の河川管理者は、治水のために河川整備に尽力いただいている。我々も、住民、関係市町村、国や県と一緒に、ソフト的な整備も進めていく必要がある。

[問合せ先]

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2, 電話0965-32-4135（代表）



平成27年9月関東・東北豪雨による水害を踏まえ国土交通省が提起した「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づき、概ね5カ年で実施する「球磨川流域の減災に係る取組方針」を策定するため、本年6月に流域の市町村長等を委員とした「球磨川水系水防災意識社会再構築会議」を設置しました。

その後、防災担当者等で構成された幹事会等において、球磨川流域における水害リスク情報や現在の取組に関する情報共有、球磨川の氾濫時に想定される主な課題を確認し、それらの課題を踏まえた取組方針案をとりまとめました。

今回、第2回会議を開催し、幹事会でとりまとめた取組方針案について確認し、概ね5カ年で流域内市町村、県、国が実施する減災に係る取組方針を策定しました。

日時：平成28年8月24日（水）10:00～11:15
場所：熊本県球磨地域振興局 大会議室

減災のための目標

住民一人一人が水害のリスクを認識し、観光客を含めた地域の人々の「迅速かつ的確な避難」と「被害最小化」を実現する球磨川流域を目指す。

目標達成に向けた3本柱

- ①住民一人一人が迅速かつ的確な避難行動を実施するための、地域毎の氾濫特性に基づく水害リスクの周知による水防災意識の啓発・醸成
- ②防災に携わる関係者が顔を合わせる検討の場の創出・活用による、防災活動の着実な実施・連携体制の構築
- ③洪水氾濫時における人命・社会経済への被害を最小化するための地域と連携した備えと施設・体制の整備

議事内容

- 幹事会等における検討経緯に関する報告
- 「球磨川流域の減災に係る取組方針」の合意形成

意見等の概要

- 取組方針のもと流域内で連携し、関係者一体となって水害に備えたい。
- 想定し得る最大規模の降雨を踏まえた洪水浸水想定区域図の公表・周知が予定されているため、既存の洪水浸水想定区域図等を活用した水害リスクや防災情報の周知にあたっては、住民の方々に混乱や誤解が生じないよう留意が必要である。
- 住民向けの防災訓練等を開催しても、いつも決まった住民しか出席しない。いろいろな住民が参加できるよう、取組として記載してある内容について取り組んでいくことは大切である。



人吉市長



錦町長

[問合せ先]

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課
〒866-0831 八代市萩原町1丁目708-2, 電話0965-32-4135 (代表)